第 10 講　【近世編】アジアの繁栄
PART2 ムガル帝国と東南アジアの状況

Chapter 1　ムガル帝国の成立と支配

目標
アクバルがインド統治に用いた宗教政策の特徴を理解しよう。
アウラングゼーブの統治はそれまでとどのように異なっていたのかをおさえよう。

1　ムガル帝国の成立

①**ティムール**の子孫〔　　　　　　　　　〕が建国

1526 年，パーニーパットの戦いでロディー朝に勝利

→北インドに〔　　　　　　　　　　　〕（1526 年～ 1858 年）を建国。首都はデリー

②第 3 代君主〔　　　　　　　　〕の治世

A　〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕の導入

官位に応じて給与と維持する騎兵・騎馬の数を定める

B　〔　　　　　　　〕に遷都

C　〔　　　　　　　〕（**人頭税**）を廃止し，ヒンドゥー教徒との融和を図った

2　ムガル帝国の社会と文化

①**インド = イスラーム文化**の発達

A　〔　　　　　　　　　　　　　　　〕（**細密画**）

→イランから伝来し，ムガル宮廷で貴族的な〔　　　　　　　　　　　〕に発展

→ムガル絵画の影響を受けて，庶民的なラージプート絵画が成立

B　〔　　　　　　　　　　　　　　　〕（世界文化遺産）

シャー = ジャハーン帝がインド = イスラーム建築の最高傑作とされる妻の墓廟を建立

②ペルシア語の使用と〔　　　　　　　　　　　　〕の成立

ペルシア語が公用語として用いられた

※ペルシア語やアラビア語とヒンディー語が融合し，ウルドゥー語が生まれた。

3　ムガル帝国の変容

①第６代君主〔　　　　　　　　　　　　　　　〕の治世

A　帝国領土が最大領域に

B　非ムスリムの弾圧

厳格なムスリムのアウラングゼーブは**ジズヤを復活**するなど非ムスリムを弾圧

②ムガル帝国の分裂

ラージプートや**シク教徒**が反乱をおこし，ムガル帝国は弱体化

→君主の死後，ムガル帝国は分裂した

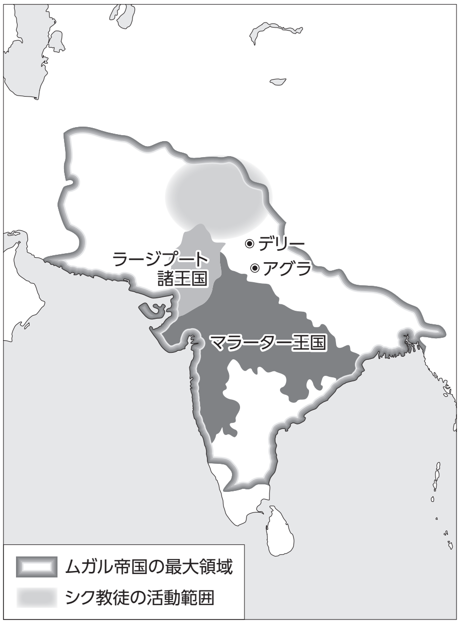
A　〔　　　　　　　　　　　　　　〕

17 世紀後半，ヒンドゥー教徒の**シヴァージー**がインド西部に建国

B　シク教の成立

パンジャーブ地方出身の〔　　　　　　　　〕が，イスラーム教とヒンドゥー教を融合し〔　　　　　〕を創始

→不可触民への差別を批判した**カビール**などの影響を受け，カーストを否定



ムガル帝国の最大領域とシク教徒の活動範囲

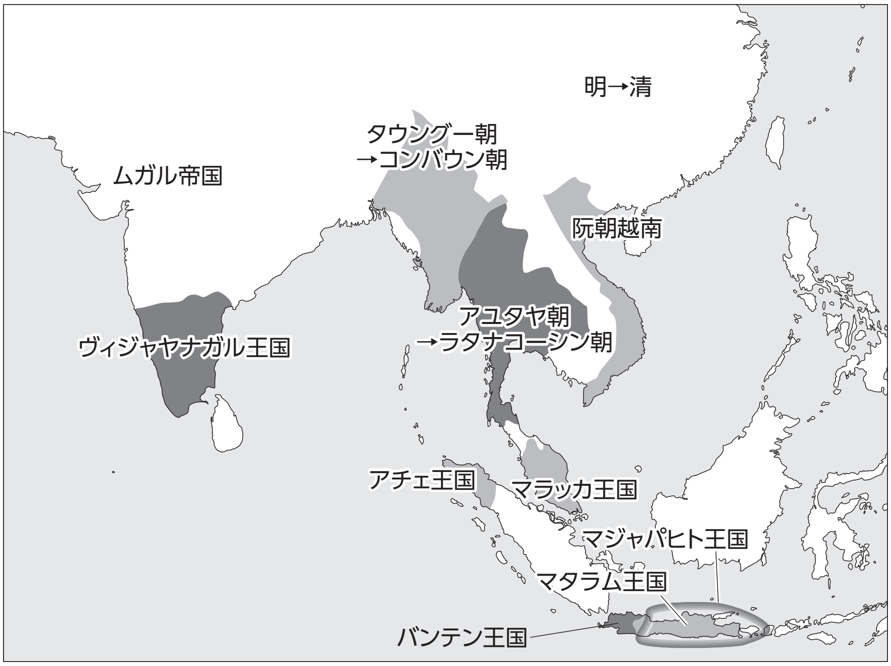
まとめ

アクバルはジズヤを廃止し，デリーからアグラに遷都するなど，ヒンドゥー教徒との融和を目指した。

アウラングゼーブはそれまでの宗教寛容策を改め，ジズヤを復活したほか，ヒンドゥー教徒など非ムスリムを弾圧した。

Chapter 2　南インドと東南アジアの諸王朝

目標
ジャワ島の王朝はどのような宗教の変遷をたどったのか知ろう。
タイのアユタヤ朝になぜ日本人町が形成されたのか学ぼう。



南インドと東南アジアの王朝の位置

1　南インドの状況

①［　　　　　　　　　　　　　　　　　］（1336年～1649年）の繁栄

14世紀に成立。ヒンドゥー教国

→**カリカット**を中心に，**「海の道」**を利用した交易などで栄えた

2　東南アジア諸島部の状況

①マレー半島

15世紀に［　　　　　　　　　　　　］（14世紀末～1511年）がイスラーム化

→諸島部のイスラーム化が進展

②ジャワ島

ジャワ島最後のヒンドゥー教国家である［　　　　　　　　　　　　　　　　　］（1293年～1527年頃）が諸島部の中心的な国家として繁栄

→ 16 世紀には，東部で**マタラム王国**，西部で**バンテン王国**などのイスラーム教国が台頭

③スマトラ島

北端部にイスラーム教国の**アチェ王国**が発展

3　東南アジア大陸部の状況

①ミャンマー

A〔　　　　　　　　　　　　〕(1531 年～ 1752 年)

パガン朝滅亡後に成立

B〔　　　　　　　　　　　　〕(1752 年～ 1885 年)

タウングー朝を滅ぼして成立

②タイ

A〔　　　　　　　　　　〕(1351 年～ 1767 年)

スコータイ朝を併合して成立

→中継貿易で繁栄し，朱印船貿易で訪れた日本人により**日本人町**も形成された

18 世紀後半に**コンバウン朝**に滅ぼされる

B〔　　　　　　　　　　　　　　　〕(1782 年～)

現在に続くタイの王朝

③ベトナム

19 世紀初頭，〔　　　　　〕(1802 年～ 1945 年) がベトナムを統一し，国号を〔　　　　〕に定める

まとめ

最後のヒンドゥー教国であるマジャパヒト王国が滅亡すると，マタラム王国などイスラーム教国が成立した。

アユタヤ朝は中継貿易で繁栄し，朱印船貿易で到来した日本人が居住地を形成し日本人町となった。

第10講 PART 2 確認問題

1 ムガル帝国を建国したのはだれか。

① アッバース１世　② トゥグリル＝ベク
③ ムアーウィア　④ バーブル

2 ムガル帝国のアクバルがヒンドゥー教徒との融和を図るために廃止したものはどれか。

① イクター　② ハラージュ
③ ジズヤ　④ カピチュレーション

3 シャー＝ジャハーン帝が建てたインド＝イスラーム建築の最高傑作とされる建造物はどれか。

① イマームモスク　② タージ＝マハル
③ スレイマン＝モスク　④ ニザーミーヤ学院

4 非ムスリムを弾圧したムガル帝国の君主はだれか。

① ハールーン＝アッラシード　② ウルグ＝ベク
③ イスマーイール　④ アウラングゼーブ

5 南インドで繁栄したヴィジャヤナガル王国の中心都市はどこか。

① デリー　② ダマスクス
③ アグラ　④ カリカット

6 ジャワ島最後のヒンドゥー教国家はどこか。

① アチェ王国　② マジャパヒト王国
③ マタラム王国　④ マラッカ王国

7 タウングー朝を滅ぼして成立したミャンマーの王朝はどれか。

① パガン朝　② コンバウン朝
③ ムラービト朝　④ ムワッヒド朝

8 中継貿易で栄え，日本人町が形成されたタイの王朝はどれか。

① セルジューク朝　② アユタヤ朝
③ ラタナコーシン朝　④ スコータイ朝

第 10 講　PART 2　確認問題　解答

1 解答：④　**バーブルが建国したムガル帝国**は北インドに成立したイスラーム教国である。

2 解答：③　**アクバルは非ムスリムに課せられていたジズヤ（人頭税）を廃止**した。

3 解答：②　**タージ＝マハルはシャー＝ジャハーン帝が妃の死を悼んで建てた**墓廟である。

4 解答：④　厳格なムスリムであった第６代君主**アウラングゼーブはジズヤを復活するなど非ムスリムを弾圧**した。

5 解答：④　**ヴィジャヤナガル王国はカリカットを中心**に，海の道（海のシルクロード）を利用した交易などで繁栄した。デリーはムガル帝国の首都で，インド北部に位置する。

6 解答：②　**ジャワ島では最後のヒンドゥー教国となったマジャパヒト王国**が衰えた後，イスラーム教国のマタラム王国などが台頭した。アチェ王国，マラッカ王国もイスラーム教国である。

7 解答：②　ミャンマーにおいて**タウングー朝を滅ぼして成立したのはコンバウン朝**である。パガン朝はタウングー朝成立以前に栄えた王朝。

8 解答：②　朱印船貿易で**タイのアユタヤ朝を訪れた日本人が日本人町を形成**した。ラタナコーシン朝は 18 世紀に成立して現在に続くタイ王朝であり，時代が異なる。